

動物の診察室から

○ 25 ○

を吸うように私の手を吸っていました。

大学を卒業すると、広島で研修医として二年間を過ごしました。

その間に新潟の実家にいる秋田犬の五郎の具合が悪いと知らせを受けました。

しかし、新潟に帰ることはできず、また帰ったとしても、大学を出たばかりの私には、五郎の病気に

対応するだけの力はなかつたと思います。

獣医師になる時にした、「五郎が病気になるたら治してあげるね」という約束は

果たせず、また最期をみとってあげることもできずに、五郎は天国へ行きました。

広島での研修後、先輩の紹介で、横浜の動物病院に勤務しました。

その病院の院長は、かつての愛犬アニーが死んだ原因、フィリアの急性症

の外科的手術法を確立した先生でした。

私は、アニーが導いてくれたのだからと感じました。

その後、新潟へ戻り今の場所動物病院を開院しました。

大学で拾ったエナちゃんは、広島でも横浜でも一緒に暮らし、何年か前に二十三歳でな

りました。

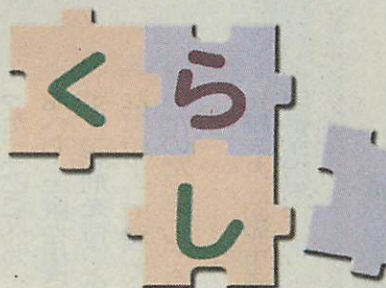
獣医師になって、たくさん動物たちを治療してきました。

若くして難病になる子もいます。

寝たきりになっても看護されて、静かに息を引き取る子もいます。

ペットは人より寿命が短いですが、かわいがられた動物たちは、みんな天国で飼い主さんを守っています。

私がお医者さんになったわけは、動物が好きだからです。そして、私の仕事は、病気で苦しんでいる動物たちを救って、天寿を全うさせてあげることです。



獣医師になったわけ(下)

病苦癒やし天寿全うを

ことはなく、可能性は誰かに拾われたか、事故にあったかです。私はその夜、トフちゃんが徘徊する範囲の道を回ってみましたが、事故にあった形跡はありませんでした。結局、その日を境にトフちゃんに会うことはありませんでした。

そして、トフちゃんがいなくなってしまうくらいで、大学に生まれたばかりの子猫たちがまた捨てられていました。学生た



学生時代から飼っていた猫のエナちゃん

ます。アニーも、五郎も、エナちゃんもみんな天国で私を守っていてくれると思います。

私が獣医師になったわけは、動物が好きだからです。そして、私の仕事は、病気で苦しんでいる動物たちを救って、天寿を全うさせてあげることです。

草村 正人 (獣医師・新潟市)